

山口大学 学生特別支援室 支援機器リスト

学生特別支援室では、障害等のある学生のための支援機器を整備しています。
山口大学に所属する学生への修学支援のために貸出可能です。
貸し出し希望の方は、学生特別支援室にお問合せください。

● 「聞こえ」をサポートする機器

助聴器（ボイスメッセ）
助聴器（ホワイトイヤー）
イヤーマフ
デジタル耳栓
音声認識システム
Roger（補聴援助システム）

● 「見えやすさ」をサポートする機器

拡大読書器（据置型）
拡大読書器（携帯・据置兼用）
拡大読書器（携帯用）
ルーペ

● 「読み書き」をサポートする機器

点訳ソフト（EXTRA）
多機能型点字ディスプレイ（BrailleMemo SMART）
読み上げソフト（PC-Talker）
立体コピー作成機（ピアフ）
筆談ボード（ブギーボード、KakiPon）

● 「移動」「操作」をサポートする機器

簡易スロープ	傘スタンド
車いす	車いす用姿勢保持サポートベルト
車いす用テーブル	車いす用車輪カバー
傘	車いす用レインコート
立ち上がり手すり（タッチサポート）	車いすカバー
回転クッション（イージーターン）	防水座布団（Tetote）
移乗用ボード（Easy Motion）	リーチャー（楽しくハンド）
歩行器 兼 手すり（セーフティーアーム）	

「聞こえ」をサポートする機器

助聴器 (ボイスメッセ)



- 「聞こえ」をサポートする助聴器です。
- 周囲の音を耳元で聞くことができます。
- ヘッドホンやイヤホンを通して聞くことができます。
- スイッチが少なく、操作も簡単です。

助聴器 (ホワイトイヤー)



- 「聞こえ」をサポートする機器で、周囲の音を大きくして聞くことができます。
- ヘッドホンやイヤホンを通して耳元で聞くこともできます。
- 手動で音量や感度を調整することができます。

使用例



イヤーマフ



- 「聞こえ」を支援するイヤーマフです。
- 周囲の音をある程度遮ることができます。
- 周囲の音が気になるときに装着すると、騒音が軽減され集中を促します。

使用例



デジタル耳栓



- 「聞こえ」を支援するデジタル耳栓です。
- スイッチを入れるとある程度騒音が遮断されます。
- 呼びかけ声・アナウンス・着信音などの必要な音は聞くことができます。



音声認識システム



- 音声情報を認識し、文字情報に変換して表示するシステムです。
- 山口大学では、LiveTalk(富士通)や、Office365 (Microsoft) ディクテーション機能・字幕機能を搭載したパソコンや、Googleの音声認識機能を活用しています。
- それぞれに特徴があるため、環境によって使い分けています。

Roger (補聴援助システム)

- ・「聞こえ」を支援する、デジタル補聴援助システムです。
- ・デジタル無線方式でクリアな音声を直接耳元に届けることができます。
- ・シリーズ展開されており、機器を組み合わせたりモードを切り替えることで用途に合わせた使用が可能です。



送信機 タッチスクリーンマイク

- ・シリーズの中でもオーソドックスな、話者が使うワイヤレスマイクです。
- ・発話者が首に掛けたり、テーブルの上に置いてグループの会話を拾ったりできます。



送信機 パスアラウンドマイク

- ・話者が使うハンドマイクです。
- ・タッチスクリーンマイクと接続し、複数名の発話内容を聞くことができます。



送信機 ロジャーペン

- ・話者が使うペン型マイクです。
- ・本体上部を話者に向けて使用します。



送信機 マルチメディアハブ

- ・音響機器からの音を受信機に送信することができます。
- ・タッチスクリーンマイクと併用することで、音響機器からの音と話者の声を同時に聞くことができます。



送信機 ロジャーセレクト

- ・テーブル上に置いて複数人の声を同時に受信したり、話者が胸元に装着して使用したりできます。
- ・集音の方向を指定できるのが特徴です。



送信機 テーブルマイクⅡ

- ・複数人が話す空間の中心に置き、会話を拾うことができます。
- ・他の送信機と同時に使用できます。
- ・リモコンで操作可能です。



受信機 ロジャーリンク

- ・「送信機」と接続することで送信された音声を受信します。
- ・ヘッドホン等を接続して、支援者が機材の接続状況を確認することもでき便利です。

ロジャー送信機 利用距離の目安

※山口大学SSR調べ

送信機	受信機利用可能距離(約)	集音距離(目安)
タッチスクリーンマイク	屋内 30m 屋外 20m	首掛けモード 0.2m 小グループモード 3m ※ インタビューモード 4m
ロジャーペン	屋内 15m 屋外 10m	首掛けモード 0.15~0.20m インタビューモード 1~4m 卓上モード 1~3m
ロジャーセレクト	40m※	首掛けモード 0.3m センターキー 3~6m※ セレクトキー 5~7m※
テーブルマイクⅡ	15m	
パスアラウンドマイク	20m	手持ちモード 0.05~0.10m マイクスタンドモード 0.30~0.90m

「見えやすさ」をサポートする機器

拡大読書器（据置型）

※現在、総合図書館（吉田地区）に設置しています。



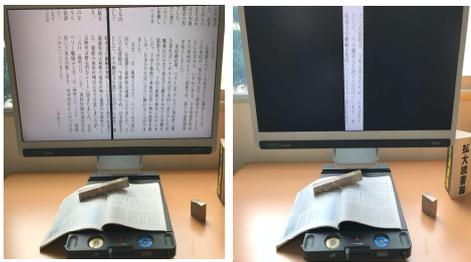
- 書籍などを、モニターで確認することができます。
- 一度に広い範囲を確認することができるので、大きな資料を読みたいときや、じっくり読みたいときに適しています。

メリット

- 手元の文字を、モニターを通して拡大して見ることができます。
- 色の反転や、明るさの調節もできます。
- ライン機能やマスク機能、ピント調節機能など、様々な機能があります。

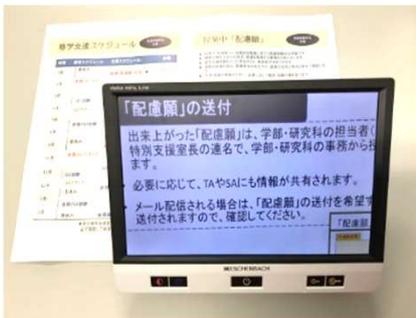
デメリット

- 持ち運びには不向きです。
- 機能が多いため、自分に合った機能を確認することをおすすめします。



↑ライン機能やマスク機能の使用例

拡大読書器（携帯+据置兼用）



- タブレットパソコン程度の大きさで、持ち運び可能です。
- 「ベース」を用いて、据え置き型の拡大読書器と同様の使い方することもできます。
- 設定は読書器内に表示されるアイコンを選択することで行います。

メリット

- 写真を撮影し、保存することができます。
- 一度に広い範囲を視認でき、長文等を読みやすいです。
- 倍率や明るさ、コントラストなども調整することができます。

デメリット

- 一部分の画質が荒くなったり、照明等との相性で画面が暗くなる・光飛びすることがあります。
- ベースよりも大きな資料は読みづらいかもしれません。



ベースの使用も！

拡大読書器（携帯用）



- ・コンパクトなので、持ち運びに便利です。
- ・確認したい箇所を拡大して小型の画面に映します。

メリット

- ・倍率を変えたり、色を反転させたりする機能もあります。
- ・操作がシンプルで誰にでも使いやすいです。
- ・シャッターボタンを押すと、静止画モードに切り替わります。

デメリット

- ・一度に確認できる範囲が限られています。
- ・画面が光飛びすることがあります。

ルーペ



ライトで
見やすく!

- ・小さくて、持ち運びに便利です。
- ・手元の資料を拡大して見ることができます。

メリット

- ・他の拡大読書器と比べて、使い方が簡単です。
- ・必要な部分だけ拡大することができます。
- ・LEDライトの色を、白、黄、橙の三色から選ぶことができます。

デメリット

- ・倍率のバリエーションが少ないです。
- ・光の色を変えるカバーの取り外しが難しいです。
- ・両手を使う作業時には利用しづらいです。

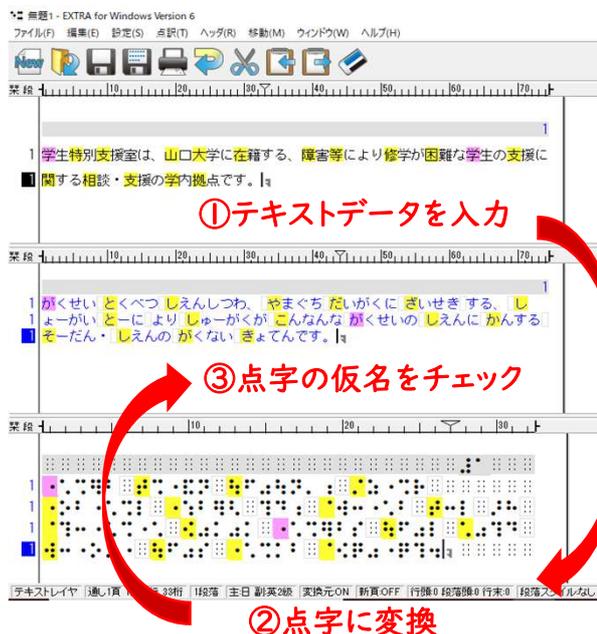
拡大読書器の使い分けの目安

それぞれの拡大読書器の特徴から、使い分けの目安をまとめました。
場面や状況に応じた拡大読書器の使い分けの参考にしてみてください。

	拡大読書器 (据置型)	拡大読書器 (携帯+据置)	拡大読書器 (携帯用)	ルーペ
機能の充実	◎	◎	○	△
長時間使用	◎	○	△	△
持ち運び	×	△	◎	◎
明るさ・ 見えやすさ	◎	○	△	○

「読み書き」をサポートする機器

自動点訳ソフト (EXTRA)



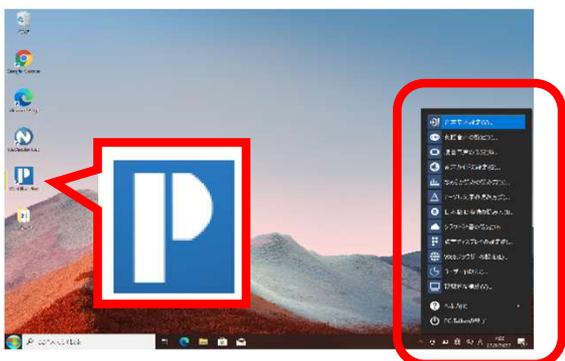
- テキストデータを仮名と点字に変換するソフトです。
- 点訳資料を簡単に作成できます。
- ソフト上で、編集も可能です。
- 学生特別支援室では、EXTRA搭載パソコンを管理しています。
- 点訳したデータは点字印刷したり、点字ディスプレイに表示したりして確認できます。

多機能型点字ディスプレイ (BrailleMemo SMART)



- 点字文書の読み書きが可能な、多機能型点字ディスプレイです。
- 音声出力と点字出力を頼りに操作します。
- パソコンに接続しスクリーンリーダーと連動させて、パソコン操作やテキスト編集をサポートすることも出来ます。
- 本体にテキスト編集、点字編集、デイジー再生、音声メディアの再生などの機能が搭載されています。

読み上げソフト (PC-Talker)



- コンピューターの画面情報を音声で読み上げ、操作を支援するスクリーンリーダーです。
- テキストデータを読み上げて確認することができます。
- 読み上げるスピードや音声を調整することもできます。

立体コピー作成機 (ピアフ)



- 文字や図形を紙面上に立体に写し出す機器です。
- 文字、図形など書かれた紙を通すことで、図形が立体的に盛り上がり、指先で触知できます。

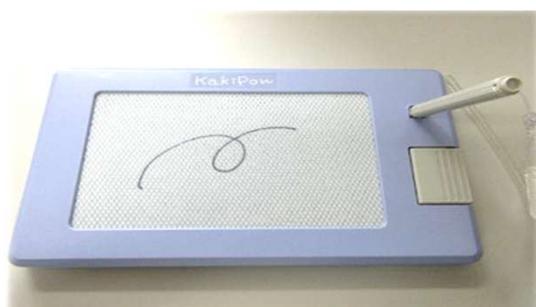


筆談ボード (ブギーボード)



- 電子メモパット。
- 筆談や簡単なメモに使えます。
- 付属のペンで書いて、ボタンで消去できます。
- 学生特別支援室では、サイズの違うブギーボードを用意しています
- 薄くて軽いため持ち運びも便利です。

筆談ボード (KakiPon)



- 簡易筆談機器です。
- 山口大学の学生対応窓口に設置しています。
- 磁器で書くため、手は汚れません。
- 書いた後、ワンプッシュで消すことができます。
- ペンの太さも選べます。

立ったままでも書きやすい!



「移動」「操作」をサポートする機器

簡易スロープ



- 小さな段差を解消して、車いすに乗ったまま移動できるようにします。
- 折り畳み式なので、持ち運びが可能です。

段差も楽々!



車いす(自走式)



- 使用者が自分で操作する車いすです。
- 介助ブレーキがついています。

車いす、車いす用テーブルは、学部や教育支援課で管理しているものもあります。



車いす(電動車いす)

- 学生特別支援室では電動車いすを管理しています。
- ひじ掛けにあるレバーやスイッチで操作します。
- 自走が難しい場合や、長距離の移動などに便利です。



車いす用テーブル



- 車いす利用者も使いやすいテーブルです。
- キャスター付きで移動もしやすいつくりです。



傘



- 直径85cmの大きな傘です。
- 車いす利用者と介助者が一緒に使用できます。



紫外線をよけるための遮光機能の高い傘もあります。

立ち上がり手すり(タッチサポート)



- 椅子、車いす、ベッドなどからの立ち上がりをサポートする手すりです。
- 持ち運んで設置することができます。

使用例



回転クッション(イージーターン)



- 椅子などに置く回転クッションです。
- 座ったまま姿勢を変えたり、体の向きを変えることができます。
- 裏面は滑りにくい加工がされています。



移乗用ボード(Easy Motion)



- 椅子から車いす、車いすから椅子などの移乗をサポートする器具です。
- 渡したボードを伝うことで、より簡単・安全に移乗することができます。

使用例



歩行器兼手すり(セーフティーアーム)



使用例

- 「歩行」や「椅子等からの立ち上がり」をサポートする機器で、歩行器や手すりとして使用できます。
- 「コの字型」「ハの字型」に形を変えたり、高さを調節できます。
- 軽量で折り畳みができ、簡単に持ち運べます。



コの字型



ハの字型



折り畳み

傘スタンド



- 傘を立てることで、車いすを両手で操作できるようにします。
- 車いすによっては取り付けにくいかもしれません。
- 風が強い日は傘が不安定になりやすいため、注意が必要です。

車いす用姿勢保持サポートベルト



- 前方への滑りを防ぎ、ずれ落ちや転倒を防止します。
- 片方の輪を車いすに固定し、もう片方の輪で胴体部分を固定して使用します。



マジックテープで
着脱簡単

車いす用車輪カバー

- 車輪にカバーを付けることで、室内で利用する際に床が汚れるのを防ぎます。

【使用方法】

1. カバーの端をタイヤに固定します。
2. カバーを車輪に沿って、1周させます。
3. 最後に、もう片方のカバーの端をマジックテープに固定します。



車いす用レインコート



使用例

- 雨天時に車いすを利用する際に、体や車いすが雨に濡れるのを防ぎます。
- 上から被り、体全体が覆われるように広げます。
- 上半身のみではなく、足元まで覆うことができます。

車いすカバー



- 車いす全体を覆い、汚れやほこりなどから車いすを保護します。
- 車いすの上から被せ、全体が覆われるように広げます。

防水座布団（Tetote）



- 車いす用の座布団です。
- 座布団についているひもで、いすに固定することもできます。



使用例

リーチャー（楽らくハンド）



- 遠くにあるものをつかんだり拾ったりするリーチャーです。
- グリップを握ることで、物をつかんだり離したりする操作ができます。
- フック上の先端を用いて、物をつかむだけでなく、自分のそばに引き寄せることも可能です。

支援機器を借りる・試すには

学生特別支援室では在学生のニーズに対応できるよう、支援機器を順次整備しています。修学上必要な場合に、本学に在籍する学生に、学生特別支援室が管理する支援機器を貸し出すことができます。また、授業等での学生へのサポートのために、学部や教職員の方々にもご活用いただけます。

- 貸出を希望する
- どのような支援機器があるのか気になる
- 実際に支援機器を試してみたい

という場合は、学生特別支援室までお問い合わせください。（問合せ先は次ページ参照）

他部署で管理している
機器もあります。
SSRホームページでも
情報公開中！



山口大学 学生特別支援室(SSR)

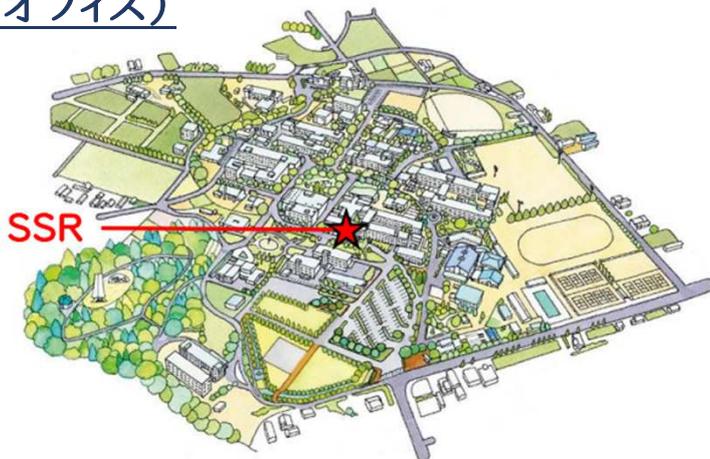
吉田キャンパス (SSR吉田:メインオフィス)

〒753-8511 山口市吉田1677-1

山口大学共通教育本館1階

電話：083-933-5256

相談対応:平日 11:00~



常盤キャンパス (SSR宇部)

〒755-8611 宇部市常盤台2-16-1

山口大学工学部本館1階102号室

電話:0836-85-9037

相談対応:平日 11:00~

小串キャンパス (火曜日のみ)

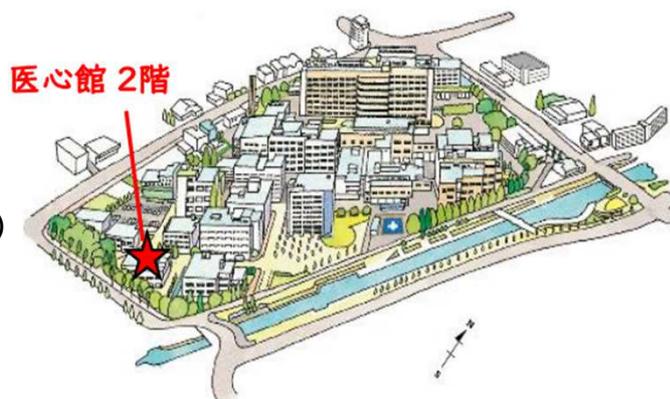
〒755-8505 宇部市南小串1-1-1

山口大学「医心館」2階

電話:0836-85-9037

(常盤キャンパス SSR宇部につながります)

相談対応:火曜(平日) 11:00~



<問い合わせ先>

山口大学 学生特別支援室(SSR)

メインオフィス: 吉田キャンパス共通教育本館1階

TEL: 083-933-5256

メールアドレス: shien@yamaguchi-u.ac.jp

ホームページ: <http://ssr.ssc.oue.yamaguchi-u.ac.jp/>

このNewsLetterは、山口大学基金の助成により作成されています